



河北医科大学

(中華人民共和国)

(Hebei Medical University)

交流協定締結年月日：2001年11月27日 主管学部：医学部



<http://www.hebmu.edu.cn/>より抜粋

国際交流の特色(大学紹介)

河北医科大学は1894年に端を発し、他大学との統合により1995年5月に現在の大学となっている。河北省石家庄市に位置し、昔から東西の交通の要衝としても知られている。大学の構成は、学部14、大学院博士課程42、修士課程68のコースである。学生数は本科生10,491人、留学生400人(日本、韓国等)である。教職員は12,443人を超え学生の指導にあたっている。さらに、河北医科大学は5箇所の附属病院を有し、非常に高水準な教育・研究・診療がなされている。また、日本をはじめ韓国、アメリカ、フランス、イギリス、パキスタン等の海外の大学と共同研究を活発に行っている。

交流実績(平成25年度～27年度)

受入・派遣	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
外国人留学生受入		4	3	3
短期留学生受入		12	0	10
短期学生派遣		0	0	5
外国人研究者受入		0	1	0
教職員受入		2	0	4



教員からの声

河北医科大学は大きな規模の大学で、基礎医学院、口腔医学院、成人教育学院、薬学院、公共衛生学院、衛生技術学院、臨床医学院からなっている総合的な医学教育機関である。さらに、大学には第1から第6までの附属病院があり、非常に充実した臨床教育が行われている。特にこの中でも第4附属病院における食道がんの症例数は世界に類がないほど多く、諸外国の大学と共同研究が進められている。

本学の医学科博士課程、看護学科修士課程を修了した留学生のほとんどは自国の大学、病院で活躍している。本年度は、本学医学部医学科学生5名と教員2名が派遣された。毎年河北医科大学から短期間10～15名ほどの学生が本学を訪問している。今後双方の学生交流がさらに推進されることを期待している。

(医学部教授) 三宅 実

学生からの声

私は2012年に河北医科大学を卒業した後、2013年に日本へ勉強にきました。現在、香川大学医学系研究科薬理学講座に所属します。薬理学講座では、西山教授の指導の下、“(Pro)renin receptor contributes to tumorigenesis of colon cancer through Wnt/ β -catenin pathway”の研究を行っています。これまで研究室の先生方の協力もあり、私は細胞実験・動物実験技術を修得しました、同時に多くの貴重な経験ができました。私はこの研究室で勉強できる事を非常に光栄に思っています。今、私は日本の生活が大好きです。

(薬理学講座 大学院生 Wang Juan)

河北医科大学

(Hebei Medical University)

ホームページ

<http://www.hebmu.edu.cn/>

●学部学生

●大学院生

9,781人(本科生のみ)

3,431人

●教職員

11,186人

●留学生

約300人